



No. 127 2013年 7月

博物館だより



15周年特別企画 カバ骨格公開組立



カバのモグの骨格：おびひろ動物園での展示風景

おびひろ動物園で飼育されていたカバ「モグ」の骨格をあずかり、展示することにしました。

夏の間、化石工房で組み立て作業を公開します。



元気なころのモグ：おびひろ動物園提供

なぜ、足寄動物化石博物館で カバか

展示室で化石や骨格の説明をする時、アショロアやデスモスチルスはなにに似ていますか？とたずねると、ほとんどの人は「カバ!」とこたえます。たしかに、おおざっぱに見ると似ています。

しかし、最近の遺伝子などの研究によると、カバは、クジラに最も血縁の近い陸上動物なのです。

見かけはデスモスチルス、本当の親戚はクジラ。カバって足寄動物化石博物館の真ん中にいてもいい、とおもいませんか。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

No. 127

2013年 7月24日発行

(年4回発行)

15周年を迎えて

足寄動物化石博物館は、ことし、開館15周年を迎えました。

アショロアをはじめ茂螺湾から産出するたくさんの化石を足寄町の財産として世界に知らせていくという館の使命は少しずつ・着実に成果があらわれています。大手出版社の図鑑に紹介されたり一般向け科学雑誌にも記事が載るようになりました。研究面でもあしょろの化石なしには議論が進まないという状況です。

館内の展示内容は、研究がすすんだことによって修正する必要がでてきました。あたらしい標本や模型を設置し、説明文を書きかえて展示全体を拡充する準備をすすめています。作業は公開します。足寄動物化石博物館第一期から第二期への移行を確かめてください。

館長 澤村 寛

15周年の年の 今後の予定

展示関係

7月～9月
カバ骨格組み立て

10月～11月
カバ骨格、おびひろ動物園で展示
(おびひろ動物園50周年記念)

11月～
デスモスチルス類の遊泳姿勢検討
(実物大・ミニチュア骨格組み立て)

秋～冬
解説パネル内容修正検討

2～3月
説明パネル張り替え
アショロカズハヒゲクジラの頭部連続
復元、その他あたらしい骨格・模型
設置作業

運営関係

秋～冬
指定管理による運営の継続協議

ラワンブキの模型製作

ラワンブキ(植物名)。北海道遺産に指定された「螺湾ブキ」。足寄町の特産品の「ラワンぶき」として、町・足寄農協が生産・販売に力を入れています。

初夏に最大の大きさに成長しますが、ほかの季節はその大きさが実感できない・・・何とかならないか・・・という関係者の要望にこたえて、ついにラワンブキのレプリカが登場しました。

化石のレプリカづくりの技術を応用して、化石工房の技術スタッフが、高さ2.3メートルのプラスチック製ラワンブキを製作しました。

葉脈もくっきり、茎(葉柄)の質感も実物と見まちがうほどのできばえです。

現在(7月中旬)、道の駅の「よってみ菜」店内に飾られています。

ひきつづき携帯用のものをつくり、各地のイベントで活躍できるよう計画しています。



バロックコンサート vol.5

古楽と古生物のハーモニー 2013



8月31日 (土) 午後 4 時 30 分 (6 時終了予定)

コンセールによるクラヴサン曲集第3番より P.ラモー作曲 岩淵恵美子編曲 (チェンバド)
プレリュード ニ長調/プレリュード ホ短調 J.-M. オトテル作曲 (リコーダー・チェンバド)
続・音楽による礼拝「飢えのくびきに耐え」 TWV I-479
G.Ph. テレマン作曲 (歌・リコーダー・バロックヴァイオリン・チェンバド)
ほか

本当の サイトミュージアム
夜の博物館



足寄動物化石博物館開館15周年記念



期 日：8月16日 (金)・17日 (土)・18日 (日)

時 間：午後6時～午後8時

持ち物：懐中電灯

入館料・イベント参加：無料

イベント：・学芸員小話

・やみ夜の展示観察

・ヘッドランプでミニ発掘(化石)

ヘッドランプは20名分用意があります。
お持ちの方はご持参ください。

怪奇現象の起こらないサイトミュージアムをお楽しみください。

夏の体験のおしらせ

○ 化石教室3回目 「白糠町右股」 (9月8日)

3000万年前の貝の化石を採集しに行きます。

①博物館に集合して、各自の車で現地に向かい、②化石採集地入り口で2回目の集合！

時 間：9時集合、15時解散（現地での化石採集は11時から14時を予定）

参加費：無料（ただし保険料として100円必要。現地で回収）

申 込：博物館に、電話・メール・窓口でお問い合わせください。申込用紙をお送り・お渡しします。

締 切：8月30日

○ キウ砂さがし (7月25日～8月31日)

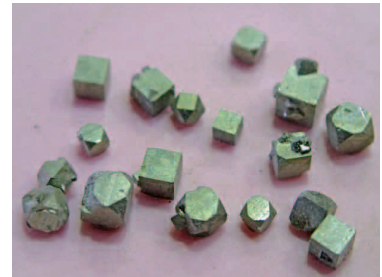
砂の中から「金色」に光る結晶（黄鉄鉱）を探します。

作業時間：30分～1時間

参加費：200円

申込み：不要

1～4mmの
黄鉄鉱の結晶
をあつめよう



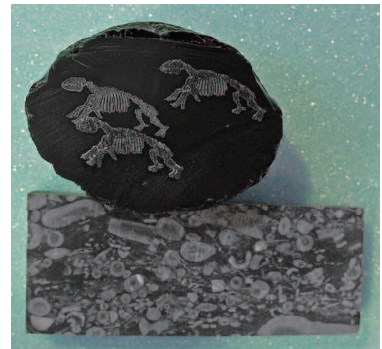
○ 石はみがくと玉になる。(8月1日～)

ザラザラした石も、みがくとピカピカの「玉」になる！
今回は、平らな面をみがきます。

作業時間：1～2時間

みがく石：アショロアのレリーフ入り十勝石（写真上）、
または、
ウミユリの化石がびっしり入った石灰岩（下）
※それぞれ、数に限りがあります。

参加費：500円



石灰岩のはばは 10cm

○ 足寄町内の小中学生の皆さんへ

化石体験無料券（1回）をこたしもプレゼントします。

（学校にお願いして配布します）。

夏休みは、レプリカづくりやミニ発掘を楽しもう！

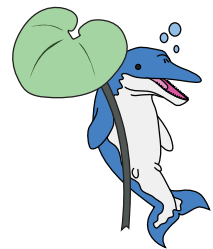
足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休 館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）
※8月末までは、全日開館します。

○料 金 一般 400円、 小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。 足寄町内の小中学生は無料。

※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



編集後記

カバの骨格は、長年のひそかな願いでした。実現がまちどおしい。ただ、デスマスチルス類は海を泳ぐ生活だった、という発表の後だけに・・・ン？